



～音楽が紡ぐ“縁”～

# HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第393回定期演奏会 THE 393RD SUBSCRIPTION CONCERT



指揮  
下野 竜也  
Conductor  
Tatsuya Shimono



ピアノ  
清水 和音  
Piano  
Kazune Shimizu

©Mana Miki

## 2019.9.13 (金)

18:45開演 [17:45開場]

Fri Sep 13, 2019 Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール

広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

〈日本・ポーランド国交樹立100周年〉

The 100th Anniversary of the Establishment of Diplomatic Relations between Japan and Poland

ショパン(没後170年): ピアノ協奏曲第1番ホ短調

Chopin: Piano Concerto No.1 in E minor Op.11

矢代 秋雄(生誕90年): 交響曲

Akio Yashiro: Symphony

Concertmaster: 佐久間 聡一 Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)

S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円(学生券1,500円)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日

一般プレイガイド 2019年7月13日(土) / 広響事務局 2019年7月16日(火)

プレイガイド

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン  
アルパーク天満屋チケットサロン・広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場  
ローソンチケット(Lコード:62501)・チケットぴあ(Pコード:142-485)・中国新聞社読者広報部  
中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 花王 芸術・科学財団

プレミアム協賛/ 広島銀行

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

広響公式ホームページ▶

HP: <http://hirokyo.or.jp>



日本・ポーランド国交樹立100周年  
(1919~2019年)記念事業



お問い合わせ ▶ 広響事務局 TEL: 082-532-3080

## 時空を越えて(1)

日本・ポーランド国交樹立100周年に因み、ポーランドを代表するショパンのピアノ協奏曲と、下野が選ぶ日本を代表する作曲家として、生誕90周年を迎える矢代秋雄の交響曲をお届けします。フランス人の血を引き、パリで作曲家としての花を咲かせたショパンと、パリ音楽院に学び、フランス近代音楽に傾倒した矢代秋雄という、国と人と時代、それぞれの周年が絡み合う時空を超えたプログラミングです。四半世紀に渡りショパンの協奏曲を封印してきた清水和音の演奏にも大注目です。



指揮／下野 竜也

Conductor / Tatsuya Shimono

広島交響楽団音楽総監督(2017年4月就任)

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュツットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>

ピアノ／清水 和音

Piano / Kazune Shimizu

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞紙上で高く評価され、ライブ録音がリリースされている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熱演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸術ランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。桐朋学園大学・大学院 教授。

2019.10.11(金)

広島交響楽団  
第394回  
定期演奏会

広島文化学園HBGホール  
18:45開演(17:45開場)

## 日・中・韓、音楽で紡ぐ一夜の「縁」

世界的アーティストを迎えて開催する「プレミアム定期」、8歳でメータやムーティと協演するなど当時のクラシック界を震撼させた恐るべき神童と謳われた、サラ・チャンの登場です。デビュー以来30年に渡り、世界の楽団に君臨し続け、神童から女王へと進化を遂げた現在のサラ・チャンの演奏を生で聴けるまたとない機会。貫禄のシベリウスはまさに必聴です。指揮のリオ・クオクマンはマカオ出身でフィラデルフィア管弦楽団の副指揮者を務めたことから指揮者としての才能を開花、近年の活躍には目を見張るものがあります。その端正な容姿からは想像がつかない情熱を秘めた指揮がゲルギエフの目に止まり、マリンスキー劇場へのデビューを飾りました。ロシア音楽から真の姿を呼び覚ますリオ・クオクマンの指揮にも是非ご期待ください。

プレミアム定期

シベリウス：ヴァイオリン協奏曲ニ短調

Sibelius : Violin Concerto in D minor Op.47

ラフマニノフ：交響曲第2番ホ短調

Rachmaninov : Symphony No.2 in E minor Op.27

指揮／リオ・クオクマン  
Conductor : Lio Kuokmanヴァイオリン／サラ・チャン  
Violin : Sarah Changあなただけの  
マイシート

2019年度

定期全3回公演

中期定期会員募集のご案内

S席/13,500円 A席/12,500円 B席/11,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2019年4月15日～9月12日)